

梅花女子大 市瀬雅之先生

JR茨木駅西口→竹田駅→車窓から比良の山並み、琵琶湖→道の駅藤樹の里あどがわ→伊香具神社
塩津神社→道の駅あじかまの里(昼食)→塩津海道常夜灯→気比神宮→気比の松原→帰途



*白髭神社 —— あどがわ *伊香具神社

伊香具神社(長浜市木之本町)



比良の山並み

比良山風の
海吹けば
釣りする
見ゆ
柿本人麻呂
9巻-1715

国道161号をバスで通過



161号を挟んで鳥居が湖中に建つ

三尾の海に
網引く民の
手間もなく
立ち居につけても
都恋しも
紫式部

大御船
泊ててさもらふ
高島の
三尾の勝野の
渚し思ほゆ
作者未詳
卷7-1171



見え隠れする琵琶湖



高島市に入ると開ける

藤樹の里あどがわ
儒学者中江藤樹の里

安曇川を渡る

伊香具神社の背後 琵琶湖と余呉湖の間に賤ヶ岳の山々





琵琶湖の水運 丸子舟



あじかまの里
「あじかま」は
塩津を指す枕言葉
びわ湖の水辺で
冬を越す鴨に由来

塩津神社 長浜市西浅井町塩津浜547

あじかまの里
塩津をさして
漕ぐ舟の
名を告りてしを
逢はざらめやも
作者未詳歌

知りぬらむ
行き来にならす
塩津山
世にふる道は
からきものぞと
紫式部

卷11-2747

氣比神宮の大鳥居(重要文化財高さ10.9m)
春日大社、嚴島神社と並ぶ三大木造鳥居



氣比神宮 拝殿



拜殿横に咲く
初冬の桜



角鹿神社

土公さん「触るべからず、畏み尊ぶべし」
地元の神様 伊奢別(いざわけ)命 が降臨したと伝わる

大
和
和
倭
笠
朝
臣
金
村
越
の
海
手
結
が
浦
を
旅
に
し
て
見
れ
ば
と
も
しづ
び
つ

卷3-367

手結が浦辺り



金村は
角鹿の津
から船に乗つて
越前国府へ
向かい
ました